



研究推進 アドミニストレーション センター

Research Administration Center





豊橋技術科学大学 副学長（研究力強化担当）
研究推進アドミニストレーションセンター長

滝川 浩史
Hirofumi Takikawa

豊橋技術科学大学は、文部科学省の「研究大学強化促進事業」に採択されたことを機に、2013年12月 価値を創造できる研究を大学として強力に推進できるよう「研究推進アドミニストレーションセンター（Research Administration Center; RAC）」を組織しました。

RACでは、大学で行われている研究および社会のニーズについて精通し、分析した上で、研究力強化・外部資金獲得増強を目指し、研究戦略の立案、関連の制度設計・運営を行っています。例えば、科研費・省庁大型プロジェクトの採択支援、産学官連携研究プロジェクトの企画・締結支援、知的財産の取得支援・管理・活用、研究関連のリスクマネジメント、共用機器有効利用の仕組みの整備・運用などです。専門職のURAと関連の事務部門が連携して活躍しています。特に、産業イノベーション創出分野には力を入れています。

研究戦略

研究力強化のための仕組みを整える

研究力強化のために、論文発表等の支援、外部資金獲得支援等に取り組んでいます。

英語論文発表等支援

- ・英語論文の質の向上及び投稿論文数の増加を目的とした、「英語論文校正支援」
- ・海外ジャーナル等に投稿する研究者の費用負担を軽減のため「論文発表等支援経費」を投稿料の一部を大学が負担

外部資金獲得支援

- ・競争的研究資金の獲得に向け、申請書作成支援や申請書のチェックを実施
- ・科学研究費の獲得支援として、科研費説明会を開催し、効果的な申請書の書き方等の説明会を実施

産学官連携推進

企業や地域との連携を強化、協力関係を構築し、イノベーション創出を目指す

企業や地域社会とのつながりを深め、共同研究、受託研究などを盛んにする活動を実施しています。

その中で生まれた成果は、知的財産として権利化を図り、活用されています。

産学官連携活動の推進

- ・国内外のプロジェクト等の競争的資金獲得までのプレアワード及び獲得後のポストアワード
- ・民間企業との共同研究、受託研究や研究成果の社会実装を支援、知的財産の創出から権利化、活用までの総合的な支援

研究シーズの泉

- ・企業ニーズに対して必要な研究シーズをAI検索できるポータルサイト「研究シーズの泉」を公開
- ・豊橋技術科学大学、長岡技術科学大学、全国の国立高等専門学校の研究シーズを横断的に検索可能

技術相談

- ・地域の産業界を中心として企業が抱える課題解決を支援することを目的に「技術相談」を積極的に推進
- ・企業の現場で解決を迫られている難問や疑問へのアドバイス。お気軽にご相談ください。



研究シーズの泉



技術相談

技術科学支援

設備の共同利用を推進する

研究設備・機器の整備計画の策定支援、学内にある共同利用機器の学内外の利用推進、研究者の退職や異動により不要となった機器の再利用など、研究機器の有効活用を推進しています。

研究設備・機器の整備計画の策定支援

- ・共同利用機器の利用状況や新規の導入希望機器を把握し、大学の研究設備・機器の整備計画の策定を支援

研究機器の共同利用支援

- ・一部機器については学内だけでなく、学外の方も利用可能
- ・利用方法や機器一覧はウェブ上で公開



共同機器利用案内

産学官連携リスクマネジメント

産学官連携の推進に伴うリスクを予見し管理する

多様化する産学官連携活動に伴うリスクから大学の社会的信頼や研究者の研究活動・地位名誉等を守るため、次の三つの重点項目について、リスク管理に関する活動を行っています。

利益相反

利益相反状態を把握し、適切かつ柔軟にマネジメントを実施

安全保障輸出管理

外国為替及び外国貿易法等に基づいた安全保障輸出管理と研究者への啓発活動

産学官連携秘密情報管理

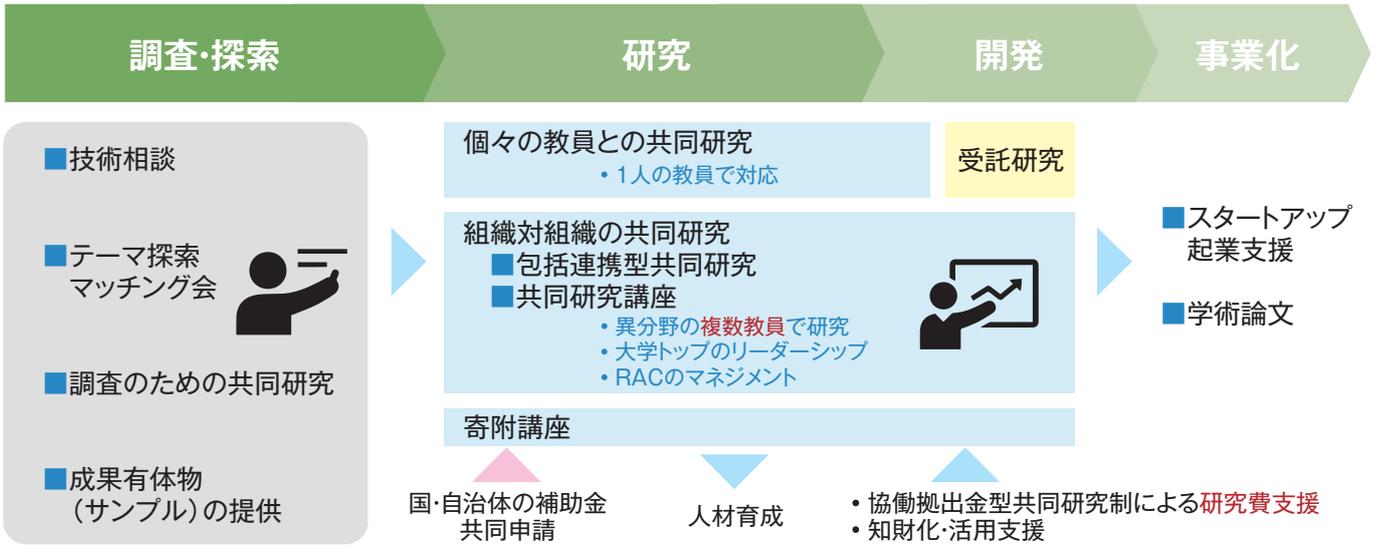
情報管理と有効利用とのバランスを考慮しながら適切に秘密情報を管理

産業イノベーション 創出に向けて

産業界の技術ニーズの解決、イノベーション創出に貢献するため、本学では、産学連携のメニューを用意しています。まずは、RACにご相談ください。

ワンストップサービス窓口

Tel:0532-44-6975
Fax:0532-44-6980
E-mail:tut-sangaku@office.tut.ac.jp



個々の教員との連携

		主な手続きの流れ
共同研究	両者で設定した研究課題について、本学教員と企業の研究者と研究を行います。研究に必要な経費は、企業にご負担いただきます。	
受託研究	企業の研究課題について、本学教員が研究を受託します。研究に必要な経費は、企業にご負担いただきます。	
技術相談	企業の抱える課題について、本学教員自身が有する知見や技術を用いて、指導やアドバイスを行うものです。初回の面談は無料で、2回目以降は、指導料を頂きます。課題解決のためのサンプル評価、研究成果の簡単なトライアルも可能な範囲で有償で行います。	
受託研究員	企業の研究者が、本学教員の指導の下、本学内で研究を進めるものです。企業の研究者の指導料(研究料)は、企業にご負担いただきます。	
サンプル提供	本学の研究成果に基づき、サンプルを有償で提供します。	
研究設備の共同利用	本学の研究設備・機器等を有効に活用して、試験・測定等を行うことができます。	

組織対組織の連携

共同研究講座	企業の技術者を教員(特任、客員等)として、複数名の本学教員とビジョンを共有し、ビジョン実現に向けた課題について共同研究を行います。研究に必要な経費は、企業にご負担いただきます。	
寄附講座	大学や教員宛に寄附頂き、本学で課題設定、研究を行います。	
包括連携	組織的な連携を行うための協定を結び、共同研究、人材育成を行います。	

「組織」対「組織」の共同研究の開始までの流れ

担当URAの全面サポート



STEP 1

ビジョンの共有・対象領域の設定

- ・両機関のトップ会談
- ・企業の研究開発ビジョン・事業課題の共有化
- ・検討対象領域の選定

STEP 2

開発課題の抽出

- ・ビジョンに基づく開発課題の創出
- ・対象領域の開発課題のリスト化

STEP 3

研究テーマの設定

- ・開発課題に対応する候補研究者抽出
- ・研究者との面談・研究内容討議（マッチング）

個別共同研究

STEP 4

研究プロジェクト計画の策定

- ・研究チームの構成（本学研究者、他大学・高専教員）
- ・研究計画（研究ステップ・ゴール・研究員・研究費等）の策定

企業研究者の
社会人ドクター取得

STEP 5

契約締結

- ・申込書
- ・共同研究・共同研究講座契約交渉・締結



STEP 6

機関連携型共同研究の実施

- ・両機関トップを交えた報告会開催・課題の共有化
- ・定例報告会開催

共同研究講座実績

（共同研究講座2024年4月現在）

講座名称	企業	期間
次世代クレーン共同研究講座	コベルコ建機株式会社	2019年4月1日～2027年3月末
次世代スマートファクトリー共同研究講座	シンフォニアテクノロジー株式会社	2019年10月1日～2025年3月末
スマートホスピタル共同研究講座	医療法人澄心会豊橋ハートセンター	2021年4月1日～2026年3月末



TOYOHASHI
UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
国立大学法人豊橋技術科学大学
研究推進アドミニストレーションセンター(RAC)
事務室（アウトリーチ活動棟103室）



TEL : (0532)44-6975 FAX : (0532)44-6980
Email : office@rac.tut.ac.jp Web : https://rac.tut.ac.jp/

access

